



2022年12月28日

各位

会社名 フィードフォースグループ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 塚田 耕司  
(コード番号：7068 東証グロース)  
問合せ先 グループ執行役員グループ担当 西山 真吾  
(TEL. 03-5846-7016)

## 2023年5月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績との差異 及び2023年5月期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年9月30日において公表しました、2023年5月期第2四半期連結累計期間（2022年6月1日～2022年11月30日）の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、2023年5月期（2022年6月1日～2023年5月31日）の連結業績予想につきましても、下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

### 1. 2023年5月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績との差異（2022年6月1日～2022年11月30日） (単位：百万円)

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前期発表予想 (A)	1,837	486	360	353	△40	△1円54銭
実績値 (B)	1,880	530	402	398	△116	△4円47銭
増減額 (B) - (A)	43	44	42	45	△76	△2円93銭
増減率 (%)	2.3	9.1	11.7	12.7	—	—
(ご参考) 2022年5月期第2四半期連結累計実績	1,372	591	507	507	311	12.01

(注) 1. EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

2. 1株当たり当期純利益は予定期中平均発行済株式数により算出しております。

2023年5月期第2四半期連結累計期間においては、プロフェッショナルサービス事業における新規顧客からのインターネット広告予算が想定以上に増加したため、売上高、EBITDA、営業利益、経常利益は、前回発表予想数値を上回り着地いたしました。一方で、一部の子会社において課税所得の増加に伴い法人税等が増加したことや繰延税金資産の計上額の見直しを行ったことにより、親会社株主に帰属する当期純損失は、116百万円に拡大して着地いたしました。

### 2. 2023年5月期(累計)連結業績予想数値の公表（2022年6月1日～2023年5月31日） (単位：百万円)

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	3,829	1,090	848	832	419	16円01銭
今回発表予想 (B)	3,907	1,189	947	936	240	9円17銭
増減額 (B) - (A)	78	99	100	105	△179	△6円84銭

増減率 (%)	2.0	9.1	11.8	12.6	△42.7	△42.7
(ご参考) 前期実績 (2022年5月期)	3,005	1,137	930	912	602	23円20銭

(注) 1. EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

2. 1株当たり当期純利益は予定期中平均発行済株式数により算出しております。

当社は、本日付「連結子会社（テープス株式会社）の持分法適用関連会社への異動に関するお知らせ」及び「連結子会社（シッピーノ株式会社）の完全子会社化に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、ECに特化したノーコードツール「TePs（テープス）」を提供するテープス株式会社（以下、「テープス社」）が、第三者割当増資により、第3四半期連結会計期間末から持分法適用関連会社とすることとなりました。また、EC事業者に対して出荷関連の業務を自動化するサービス「シッピーノ」を提供するシッピーノ株式会社（以下、「シッピーノ社」）を第3四半期連結会計期間末から完全子会社とすることとなりました。

これらの連結範囲及び当社持分の変更の影響に加え、最近の業績動向等を踏まえ、現時点で入手可能な情報に基づき、新たに算定した2023年5月期通期連結業績予想を開示することといたしました。

なお、当社グループの2023年5月期連結結果計期間の予想における新型コロナウイルス感染症拡大による影響については、現時点においては軽微なものと判断しております。今後の市場の動向に応じて見通しが変更となる場合は、適時に開示してまいります。

各予想金額の修正理由及び事業別の詳細については、以下のとおりです。

プロフェッショナルサービス事業においては、現時点において、新規顧客からのインターネット広告需要の高まりにより広告予算が増加傾向で推移すると見込まれるため、売上高2,111百万円（前回予想比5.2%増）、営業利益940百万円（前回予想比17.6%増）に修正いたします。

SaaS事業においては、現時点において、売上高916百万円（前回予想比0.6%増）を想定しておりますが、最近の人材採用等の実績を反映し、営業利益341百万円（前回予想比15.8%減）に修正いたします。

DX事業においては、テープス社は第3四半期連結会計期間末より持分法適用関連会社化する影響その他一部のプロダクトにおける販売進捗を鑑み、売上高880百万円（前回予想比3.5%減）、営業損失333百万円（前回予想額 営業損失356百万円）に修正いたします。

以上の結果、連結売上高は3,907百万円（前回予想比2.0%増）、連結営業利益は947百万円（前回予想比11.8%増）と前回公表業績予想から増収増益となる見込みであります。

また、2022年9月30日公表「特別損失の計上に関するお知らせ」の通り、当社が保有するシッピーノ社及びテープス社に関連するのれんについて、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失として343百万円を特別損失に計上したこと及び一部の子会社において、課税所得の増加に伴い法人税等の増加が見込まれることや繰延税金資産の計上額の見直しを行ったことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は、240百万円（前回予想比 42.7%減）に減少する見込みであります。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上